

2号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

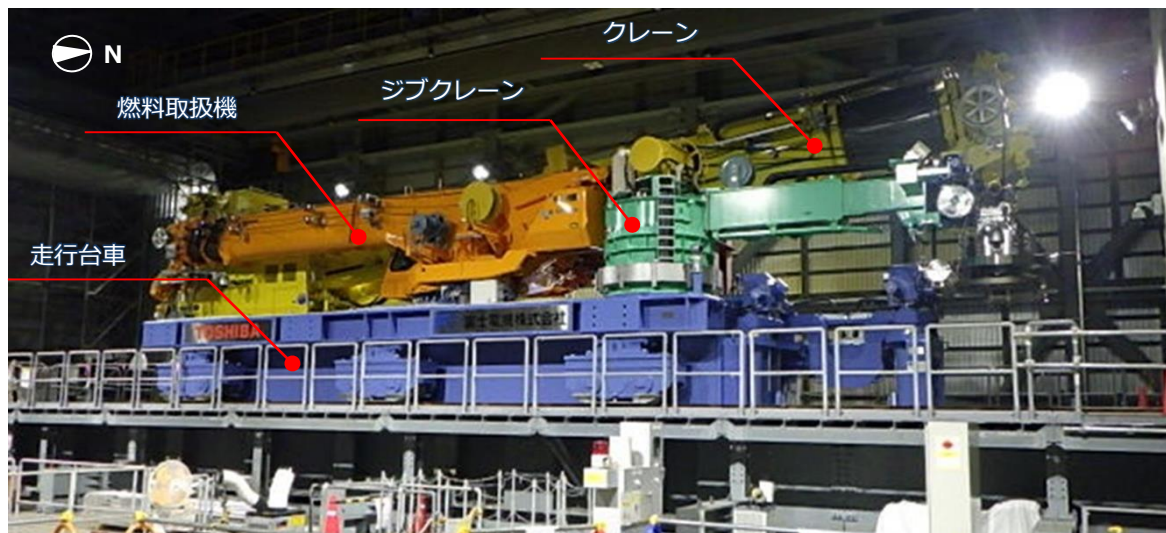
2025年8月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 燃料取り出し計画及び進捗と今後の予定

- 2026年度の燃料取り出し作業開始に向け、燃料取扱設備設置作業を実施中。
- 2025年8月20日に燃料取扱設備の受電が完了。8月21日より油圧供給ユニット動作確認試験に着手。



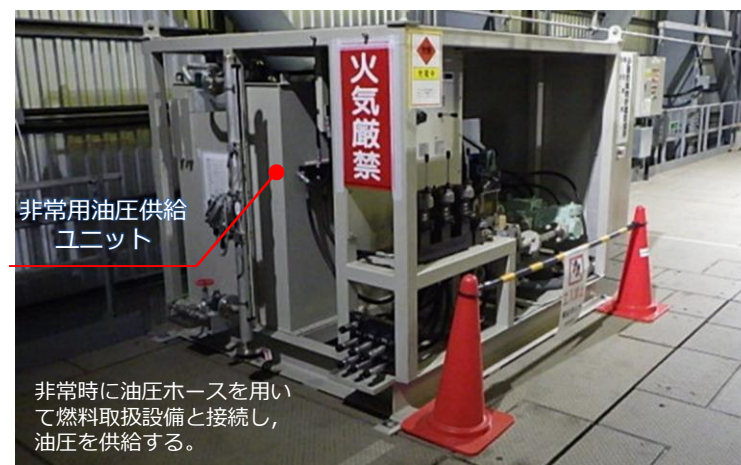
2025年8月5日 燃料取扱設備



2025年8月5日 油圧供給ユニット（走行台車内部）



2025年8月22日 遠隔操作室設置状況



2025年8月5日 非常用油圧供給ユニット

非常時に油圧ホースを用いて燃料取扱設備と接続し、油圧を供給する。

2. キャスクピット底部清掃及び燃料上部シート片等除去の計画について

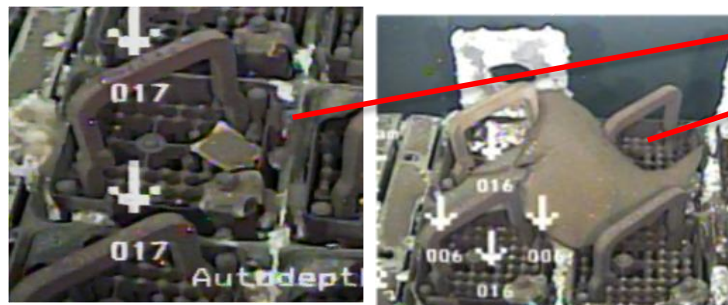
- 2020年の使用済燃料プール調査時にキャスクピット底部に堆積物、燃料ラック上にシート片等を確認している。
- 原子炉建屋オペフロの除染・遮蔽設置ならびに浄化装置の設置が完了し、作業環境及び準備が整ったことからキャスクピット底部堆積物清掃、シート片等除去を構外でのモックアップ実施後の2025年10月から実施予定。
- 回収した廃棄物は、水切りした後、線量に応じてコンテナ容器に収納し、構内の固体廃棄物貯蔵庫等に保管する。

※図・写真は2020年7月2日廃炉・汚染水対策チーム会合 第79回事務局会議資料の再掲

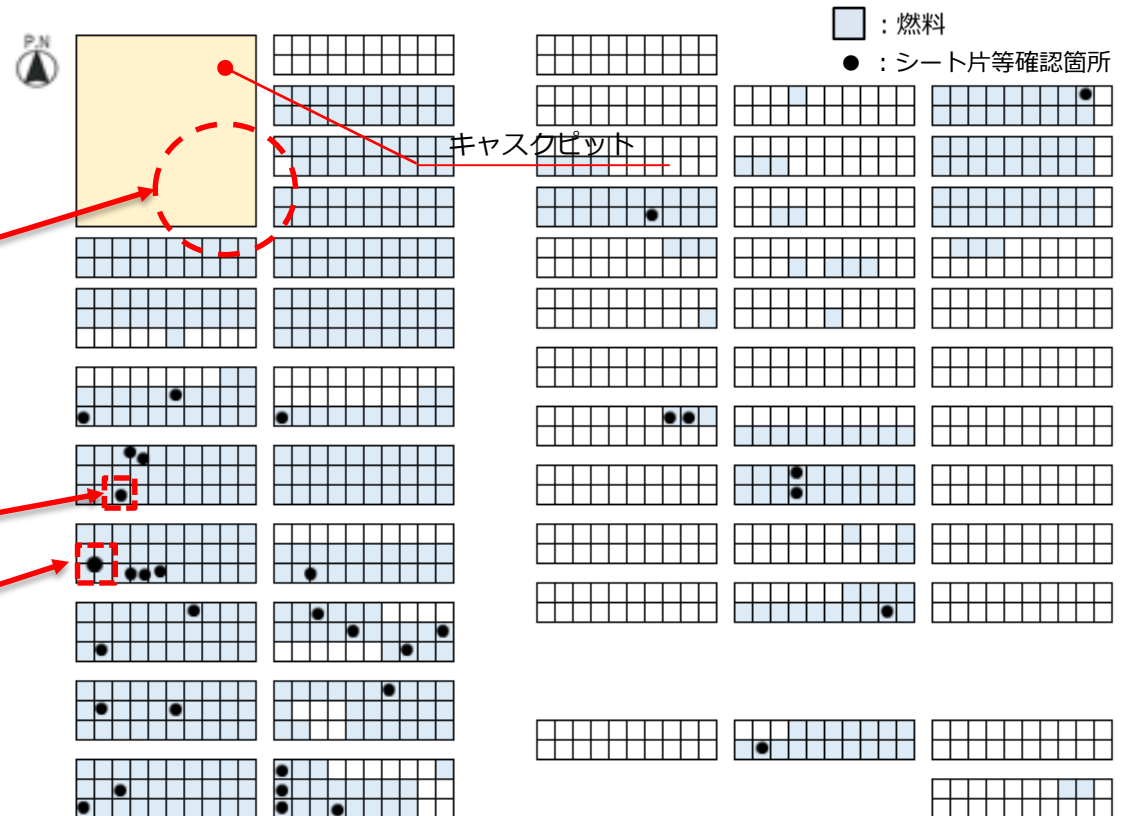


キャスクピット底部に砂状のものが堆積した様子

写真中の白文字はROVの操作情報



確認された最大のシート片
・寸法：約200×250mm
・厚さ：約1.5mm

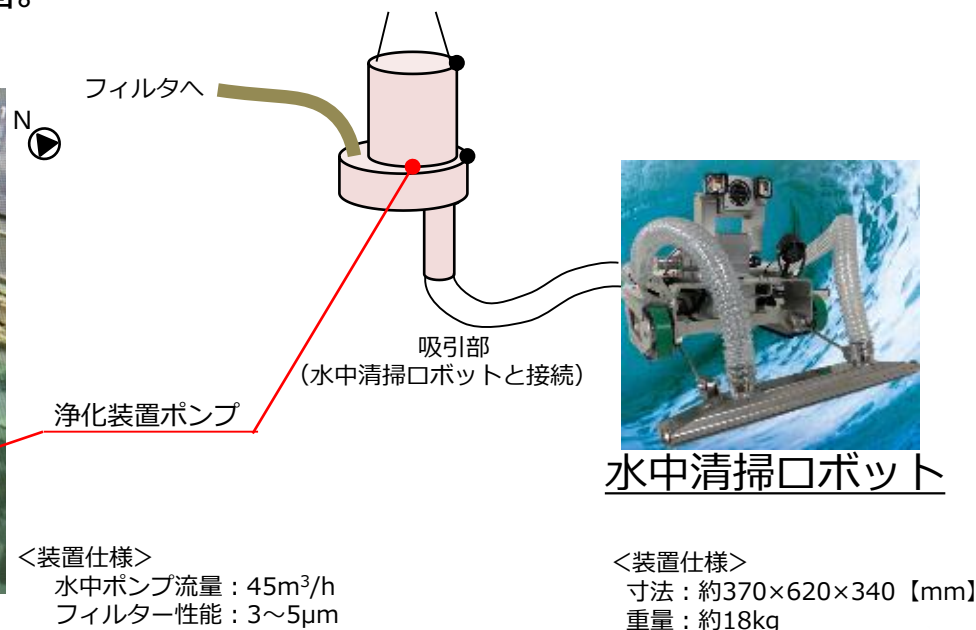
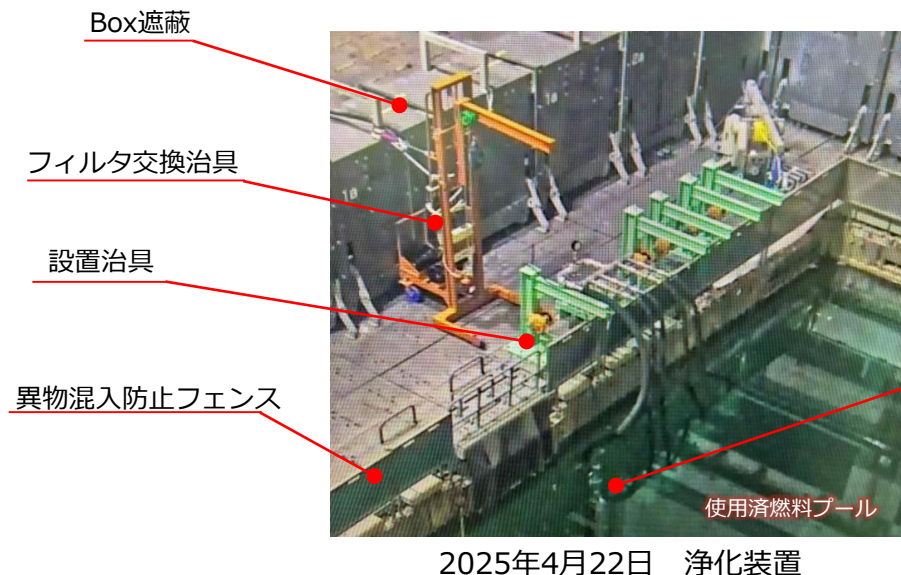


2号機使用済燃料プール内の状況

3. キャスクピット底部清掃及び燃料上部シート片等除去に使用する機器

<キャスクピット底部清掃で使用する機器>

- 2025年4月に設置済の浄化装置ポンプ・フィルタを流用し、プール水を吸引するホースを水中清掃ロボットと繋ぎ換えて清掃する計画。



<シート片等の除去で使用する機器>

- 水中ROVのアームを用いてシート片を除去する計画。



水中ROV

<装置仕様>
寸法：約480×270×170【mm】
重量：約6kg

4. 今後のスケジュール

- 油圧供給ユニットの動作確認後，燃料取扱設備各機器の単体動作確認を実施する計画。
- キャスクピット底部の清掃に向けた準備を実施中。
- 2026年度の燃料取り出し作業開始に向け，現時点で順調に進捗。
- 安全最優先に作業を進めてまいります。

	2025年度										2026年度		2027年度以降		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1Q	2Q			
燃料取扱設備設置工事			現在												
	設備設置工事(試運転/訓練含む)														
	ケーブル敷設，復元・受電														
	単体動作確認														
	試運転														
	訓練														
キャスクピット底部清掃 燃料上部シート片等除去			モックアップ	底部清掃	シート片等除去										
燃料取り出し											燃料取り出し				
許認可	実施計画審査(構内用輸送容器・燃料取り出し、ワイヤ修復燃料取り出し)														
	注：ワイヤ修復燃料取り出しは新たに実施計画申請を予定していたが、申請中の構内用輸送容器・燃料取り出しに組み込むこととした。														

※工程の進捗により変更する可能性有

※線表については，準備・片付け作業期間含む